

裾野市立東中学校 (令和元年・2年度人権教育研究指定)

1 研究主題

「自他を大切にし、学び合う生徒の育成」～主体的・対話的で深い学びを通して～

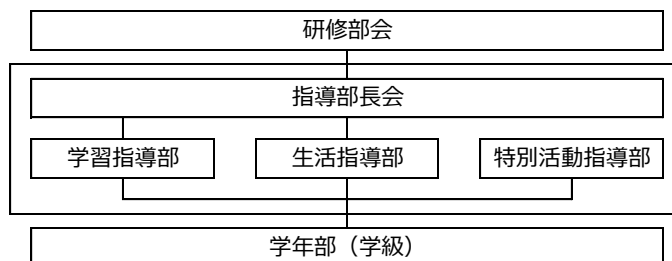
2 研究主題設定の理由

本校生徒は、「明るく素直」「心優しい」「仲間の良さを認めることができる」など他者を大切にできる良さがある。一方で、「自己表現が苦手」「粘り強さに欠ける」「チャレンジ精神に欠ける」などの課題がある。

このような生徒の実態を受け、教育活動全体を人権教育の視点から見直し、「①安心して学び合える人間関係を形成し、すべての生徒の学びを保障する授業づくりを推進する。」「②学校行事や諸活動を、自分の思いを表現し、学び合い、認め合う場（自他を大切にできる場）とする。」という2点を意識して人権教育を推進することで、生徒の人権感覚や自己肯定感が向上するだろうと考え、研究主題を設定した。

3 研究の推進体制

日常的な実践の中で生徒も教職員も人権感覚を高めることを大切にしようと考え、通常の校内組織（研修部・3指導部・学年学級経営）をそのままの組織とした。また、研究実践の具体的な立案、評価は、定例の指導部会の中で時間を確保し、指導部長会で調整後、学年部会でより具体的な活動ができるようにした。



4 研究の内容

<令和元年度 特色ある取組>

- ・「聴く」と「訊く」を大切にしたい学び合いの授業の推進
- ・今日的な人権問題の授業（北朝鮮による拉致問題・LGBTQ性的マイノリティーへの理解など）
- ・チームティーチングや授業者をローテーションさせての道徳授業
- ・生活リズムチェック
- ・異年齢グループを積極的に取り入れた生徒集会や縦割り集団を基本とした委員会活動
- ・学級経営研修、Q-U研修



<令和2年度 特色ある取組>

- ・どの生徒も授業に参加し、熱中して学ぶ学習課題の工夫
- ・朝の10分間を利用したモジュール道徳(道徳タイム、年5回実施)
- ・テスト計画表に位置づけたメディアチェック、メディア啓発運動
- ・学年を超えた関わりを大切にしたい全校カラーダンス、カラー種目
- ・今日のWピース(良いところみつけ)、東雲タイム(良いところ放送)
- ・教職員の人権感覚を見直すチェックリストの実施
- ・指導案への「本時と人権教育との関わり」の記入



5 2年間の成果

- ・学校評価アンケート結果(一部抜粋)

項目	平成30年度12月(%)	令和2年度10月(%)
学校生活が楽しい	81.6	85.5
私は授業内容を理解できている	81.2	81.8
困ったことが起きたとき先生たちはきちんと対応してくれる	79.9	87.3
先生は私の努力を認めてくれる	81.6	86.7

- ・今年度は新規不登校生徒が0人だった。今年度復帰した生徒は、授業の振り返りに「私がいままでよくわからなかった時に、〇〇さんが丁寧にフォローしてくれて助かりました」と綴っていたり、休み時間に仲間と笑顔で過ごしたりしていた。
- ・教職員アンケートからは、生徒のことを「わかってもらう」、「寄り添う」という意識の高まりがみられた。

6 課題及び今後の取組

- ・家庭や小学校と連携し、不登校生徒や問題行動の支援をしていく。
- ・今後も「関わり合うこと」、一人一人の生徒を「見取ること」を大切に、誰もが大切にされ、自分らしさを表現できる人づくりをしていく。